

# 女性市場、直販誌で開拓

## 会員化し困い込み 通販絡め客単価向上狙う

2誌創刊

ベネッセコーポレーション（本社・岡山市、福武総一郎社長）が女性向け雑誌の直販に力を入れ始めた。幼児を持つ母親や五十代の女性に向け、直販ルートの新雑誌を創刊。電話やファクス、インターネットを活用したメディアミックス手法により、読者のネットワークを図る。会員として困い込み継続化につなげることも、進研ゼミやシニア部門などと連動させながら顧客層を広げていく考え。通販やカルチャー教室なども積極的に展開し、各会員の客単価を高める。

出産育児・家庭生活に関する事業を手がけるW&F（ウーマンアンドファミリー）カンパニーは、十二月に五十代女性に向けた「あなたにエール」を、来年二月には幼児がいる家庭の主婦向けに「ボンメルシー」

（本紙既報）を創刊。購読契約を結び、直販ルートで販売する。W&Fカンパニーはこれまで、書店ルートで「たまごクラブ」や「サンキュー」などの女性誌を販売。売上げを伸ばしてきた。



「夫の定年」後の暮らしを特集した創刊号

しかし、進研ゼミを中心とした数年間強化している「事業の継続化」の観点から、顧客と定期的に接触できる直販事業を重視。顧客の周りにいる見込み客の開拓や、客単価の積み上げで売上げ増を狙う。読者は会員番号でデータベース化。孫がいる人には進研ゼミの案内を、要介護の親を持つ人には介護サービス情報を提供し、会員周辺へニューサー層を拡大。本誌に設けた通販コーナー

しかし、進研ゼミを中心とした数年間強化している「事業の継続化」の観点から、顧客と定期的に接触できる直販事業を重視。顧客の周りにいる見込み客の開拓や、客単価の積み上げで売上げ増を狙う。読者は会員番号でデータベース化。孫がいる人には進研ゼミの案内を、要介護の親を持つ人には介護サービス情報を提供し、会員周辺へニューサー層を拡大。本誌に設けた通販コーナー

ベネッセコーポレーションは十一月八日、富士通（本社・東京都千代田区、秋草直之社長）と共同で来年四月から小中学校へのIT活用支援事業を始めると発表

## ベネッセ IT学習の支援事業 富士通と協業 小中学校にソフト提供

ベネッセコーポレーションは十一月八日、富士通（本社・東京都千代田区、秋草直之社長）と共同で来年四月から小中学校へのIT活用支援事業を始めると発表。全国的なベネッセの支社でパソコンや押し花などのカルチャー教室を開催。特許を持つ会員自身が講師を務める計画もある。誌上通販企画は十六日。APレル、寝具、食品、雑貨、健康関連商品など幅広いアイテムを扱う。創刊号ではトレンドのパシニミナスタイルを紹介する。会員向けウェブサイトの構築も予定。既存の女性限定会員制サイト「ウイメンパーク」と連動させていく。

## 誌上通販は16ページ

50代女性向け「あなたにエール」

来年4月にも5万部目標

年間一回付ける計画で、初年度は「パソコン」と「お金」を予定している。体裁はA4変型判、百三十四ページ。来年四月時点で目標部数は月五万部で、購読料は六カ月間が四千八百円、年間が八千四百円。

全国的なベネッセの支社でパソコンや押し花などのカルチャー教室を開催。特許を持つ会員自身が講師を務める計画もある。誌上通販企画は十六日。APレル、寝具、食品、雑貨、健康関連商品など幅広いアイテムを扱う。創刊号ではトレンドのパシニミナスタイルを紹介する。会員向けウェブサイトの構築も予定。既存の女性限定会員制サイト「ウイメンパーク」と連動させていく。

## 母体行合併で事業再編

住友クレジットとくらからカード

## UCカード、住クレに集約

住友クレジットサービス（本社・東京都港区、加藤重義社長）とくらからカード（本社・東京都中央区、山崎勝彌社長）は十一月十日、母体行である住友銀行と三井住友銀行グループのクレジットカード事業を再編すると発表した。くらからカードのUCカード事業部門を、住友クレジットサービスに統合。同社の社名を三井住友カードに変更し、

## 二重で「まなびピア」

ブース展示などで参加

文部省が主催する生涯学習フェスティバル「まなびピア2000」が十一月一開かれた。生涯学習見本市



社協協の「年賀状作成」体験コーナー④通教振は「講座ガイド」を配布

## 通教・旅行・サービス

経院 講座にネット決済  
東京 来春 教材通販や模試でも

求人案内も好評なコーナー。書籍・教材販売については、ヤマト運輸の検査サイト、グロネコ探検隊からも入れる。来年一月には書籍・教材のオンライン販売を着手。カードを使えば完結型

社協協の「年賀状作成」体験コーナー④通教振は「講座ガイド」を配布

### イーエフピー がん保険もネット比較 10社をシミュレーション

比較は保険料、保障内容、商品の三パターンで展開。保険料では性別および契約年齢の二項目を選択し、十社の保険料を一覧表示する。がんの種類や入院日数などを選ぶことで、給付金をシミュレーションし保障内容を比較。商品についてはユーザーの主な要望十項目の中から三項目を選択し、個人の希望に沿った各社商品の比較を行う。これらの比較結果は必要時に取り出せるように、ユーザーごとの保存が可能。対象保険会社は東京海上など日本企業が五社、アメリカンホームやチュリッヒなど外資系が五社となっている。

同サイトでは既に八月から、十社の自動車保険を比較したり、Eメールや郵便で見積書を送るサービスを開始。十月三十一日には二フティのサイトでも同サービスの提供に着手した。

入院時の必要な医療費を試算する画面も

大手銀行が合併・再編を進める中、銀行系カード各社に対する困い込みも激化。第一勧業銀行、富士銀行、日本興行銀行によるみずほフィナンシャルグループは、UCカードへの出資比率を引き上げ傘下に収める方針を打ち出した。三和銀行を主母体とするJCBカードに関しても、東海銀行系列のミリオン・カードとの連携が注目されている。

十二回目当たる今回のテーマは「発見！発揮！発信！まなびの三重奏」。社通協は四日に約百人が参加し、「生涯学習インストラクター中部大会」を開催。六人が事例発表を行った後、「学習成果を生かして生涯学習を推進」と題したシンポジウムを行った。また川柳や書道など各講座の講義・実習を実施し、入場者に無料体験の場を提供。「三重県教育長賞・社会通信教育協会長賞」表彰式では、通教講座の優秀修了者百七人を表彰した。通教振も「生涯学習奨励賞」として、八十六人を表彰。ブースでは通教の奨励講座をまとめたガイドブックを配布した。